

株式会社アドバンティクレヒューズ

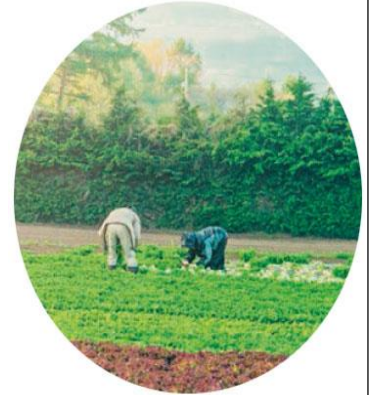
<注目事業：食品廃棄物の排出事業者と畜産農家とのマッチング支援>



■食品廃棄物の飼料化システムの構築支援

サイレージ(乳酸菌発酵)、乾燥、リキッド(食品残さと水等を混合してスープ状に加工)による最適な処理方法を提案。

例)ヨーグルト製造工場から発生したホエイ(乳清)を飼料として再利用



■食品廃棄物の肥料化システムの構築支援

性状に合った肥料化処理場のご提案、排出量に応じて乾燥菌体肥料として有効利用のご提案が可能。

食品リサイクル・ループ構築の支援も実施。

例1)食品工場で発生する脱水汚泥を乾燥機設置の提案により乾燥菌体肥料として有効利用

例2)飲料製造工場から発生したコーヒー粕を肥料化し契約農家で活用。栽培野菜をグループ外食チェーンでメニュー化(農林水産省・環境省 再生利用事業計画認定制度)

<課題解決型環境ビジネスとしての特徴、先進性>

- ・顧客に対し、収集運搬のネットワーク(畜産会社やリサイクル事業者250社と連携)を活用し、荷姿や保存性の改善を図ること等を通じた循環型社会構築の提案を実施。
- ・グループ内企業間でコミュニケーションをとり、各社がノウハウを共有。また、営業マンの訪問状況も共有されており、チームリーダーがアドバイスをを行い提案の巾を拡げている。
- ・畜産企業とのマッチングは前例を紹介しつつ地域事情にあわせて実施。
- ・食品メーカーから排出される廃棄物に関する知見は営業マンの頭の中に入っている。廃棄物が飼料として利用されない場合に、腐敗しているか否か、バラかフレコン詰めか、一回当たりの輸送量等の情報を把握し、飼料化の可能性を検討する形。例えば、豆腐工場のおからは腐りやすいのでフレコンに入れ乳酸菌を加え嫌気状態にし、飼料化を支援。
- ・食品産業の様々な原料に対し、最適な飼料供給先(酪農、肉牛農家、養豚農家、養鶏農家)とマッチングさせるべく、コンサルティングを実施。飼料の場合、A飼料、B飼料、動物性たんぱく質の給餌の可否等から、飼料供給先の選別を実施。例えば、豚の飼料にチョコレートを使いたいが、油分が気になる、との相談を受けた際に、配合飼料メーカーと相談し、配合飼料に数%混ぜてチョコレートを使ってもらうことを提案。

<会社基本情報>

【設立年】1984年12月

【資本金】1,300万円

【本社所在地】群馬県前橋市泉沢町1250番地16 泉沢工業団地内

【TEL】027-268-0055

【E-mail】atr@atr-eco.co.jp

HP <http://www.atr-eco.co.jp/>